



日本総研主催シンポジウム 開催のご案内

IoTが拓く次世代農業～アグリカルチャー4.0の時代～

長きにわたる農業の低迷や少子高齢化を受け、わが国の農業就業人口は減少が続いています。しかし、この環境を逆手に取り、少ない農業従事者で現状の農地を活用することができれば、一人当たりの農地面積が増加すると共に収益力の向上も期待でき、ピンチをチャンスに変えられる可能性があります。実際、このような新しい農業モデルの実現に向け、IoTやAIを活用した自動運転農機、農業ロボット、農業用ドローン、環境制御技術等の研究開発が進められており、2020年を目標に次々と商品化が見込まれています。

そこで、今般、日本総合研究所では、IoTが拓く次世代農業についてシンポジウムを開催いたします。IoTやAIを活用して農業従事者みなが儲かる次世代農業を「アグリカルチャー4.0」と定義した上で、そのコンセプトや戦略について提言するとともに、有識者や農業生産者も交えた議論を展開してまいります。

多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

■開催概要

- 日時** 2017年1月25日(水) 14:00～17:00 (開場13:30)
- 会場** **イノホール**(右記地図)
東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング 4階
(地下鉄 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C3出口 徒歩1分)
- 定員** 500名
- 申込** 弊社ホームページよりお申込みください(参加費無料)
<https://www.jri.co.jp/seminar/>
- 申込締切** 2017年1月20日(金)17:00
(会場の都合上、定員に達し次第締め切らせて頂きます)



■プログラム

- 14:00 開会挨拶 淵崎 正弘(株式会社日本総合研究所 代表取締役社長)
- <第一部>
- 14:10 基調講演 「IoTを活用した農業従事者みなが儲かる次世代農業」
三輪 泰史(株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト)
- 15:00 特別講演 高橋 正樹 氏(慶應義塾大学理工学部 准教授)
- 15:20 休憩
- <第二部>
- 15:35 パネルディスカッション
- <パネリスト>
- 高橋 正樹 氏(慶應義塾大学理工学部 准教授)
米澤 誠仁 氏(米澤果樹園)
濱本 壮男 氏(有限会社濱本農場 代表取締役)
安岡 澄人 氏(農林水産省大臣官房研究調整官(技術政策担当))
三輪 泰史(株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト)
- <コーディネーター> 井熊 均(株式会社日本総合研究所 常務執行役員創発戦略センター所長)
- 17:00 閉会挨拶

■お問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シンポジウム事務局
担当:前嶋・清水 TEL: 03-6833-6565 E-mail: 100860-IoTAgriculture4@ml.jri.co.jp
〒141-0022 東京都品川区東五反田2丁目18番1号 大崎フォレストビルディング



パネリスト プロフィール

高橋 正樹(たかはし まさき)氏 慶應義塾大学理工学部 准教授



2004年慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程修了(博士(工学))。同年慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 特別研究助手、2005年助手、2007年助教、2009年専任講師、2011年より現職。2013年～2015年独立行政法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所宇宙機応用工学研究系客員准教授。専門分野は機械力学・計測制御、宇宙工学、航空工学、ロボット工学、自動車工学等。

米澤 誠仁(よねざわ まさひと)氏 米澤果樹園



2009年東北大学大学院情報科学研究科博士。同年(株)本田技術研究所四輪R&Dセンター入社。2015年同社を退職、実家の柑橘農業に就農。現在、旧態依然とした経営や栽培方法の見直しを行い、IoTの積極的な導入などをしてさまざまなデータを見える化することで、経営改善に取り組中。

濱本 壮男(はまもと たけお)氏 有限会社濱本農場 代表取締役



1999年東京農業大学生物産業学部卒。2001年よりUターン就農。現在、耕作面積30haに水稲、麦類、大豆、南瓜、人参を作付。近隣農家13戸で完全協業型法人設立を目的とした勉強会で座長も務める。また、JAいわみざわ水稲じかまき研究会の副会長として、気象観測データを活用した安定生産技術の開発にも従事。農業人口の減少が問題と考え、人に投資できる仕組みについて検討中。

安岡 澄人(やすおか すみと)氏 農林水産省 大臣官房研究調整官(技術政策担当)



1988年京都大学農学部卒業、カリフォルニア大学デービス校(MSc)。1990年農林水産省入省。農業における生産、環境保全などの部門を歴任、2013年より現職。スマート農業をはじめとした農業等における技術政策に取り組む。

三輪 泰史(みわ やすふみ) 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター シニアスペシャリスト



2002年東京大学農学部国際開発農学専修卒業。2004年東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻修了。同年株式会社日本総合研究所入社。現在、創発戦略センター・シニアスペシャリスト。農林水産省、内閣府等の有識者委員を歴任。専門は、農業ビジネス戦略、農業IoT・スマート農業・植物工場等の先進農業技術、農産物のブランド化、日本農業の海外展開、1次産業を核とした地域振興等。

コーディネーター

井熊 均(いくま ひとし) 株式会社日本総合研究所 常務執行役員 創発戦略センター所長



1983年早稲田大学大学院理工学研究科修了。同年三菱重工業株式会社、1990年株式会社日本総合研究所、2006年執行役員、2014年から現職。環境・エネルギー分野でのベンチャービジネス、公共分野におけるPFIなどの事業、中国・東南アジアにおけるスマートシティ事業の立ち上げなどに関わり、新たな事業スキームを提案。公共団体、民間企業に対するアドバイスを実施。公共政策、環境、エネルギー、農業などの分野で60冊を超える書籍を刊行するとともに政策提言を行う。